

## 第5 推進方策

本県が目指す将来像の実現に向けて、以下の方策に取り組みます。

### 1 スマート農業技術の開発・改良・実証・普及

#### (1) 農業者のニーズに対応した新技術の研究・開発

- ・農林業者のニーズを把握した上で、国、企業、大学等との情報交換を行う研究開発プラットフォームを活用し、異分野が融合した研究コンソーシアムを構築します。
- ・ロボットやAI、ICTなど革新的な技術を有する研究コンソーシアムにより、農業者のニーズに対応した新技術の研究・開発し、経営評価を行います。

#### (2) 地域特性にあった技術の改良・実証

- ・ICTベンダー、農機メーカー等と連携し、導入する品目・地域や経営規模に合わせた技術の改良・実証を行います。
- ・スマート農機による省力化、軽労化や生産・出荷予測による作業効率化や消費者に選ばれる産地・商品づくりが可能な技術を確立します。

#### (3) スマート農業技術の普及

- ・イニシャルコスト・ランニングコストを縮減するため、ドローンにおける複数品目での防除技術の確立や施肥、播種、運搬など多目的利用、スマート農機による作業委託やシェアリング、リース、農業支援サービス事業者などとの連携を検討し、費用対効果を明らかにすることで、現場への技術展開を図ります。
- ・スマート農業技術の効果を最大限発揮出来るよう生産基盤を強化するとともに、農業データの相互利用など活用促進を図ります。

### 2 推進体制の整備と人材の育成

#### (1) スマート農業推進体制の整備

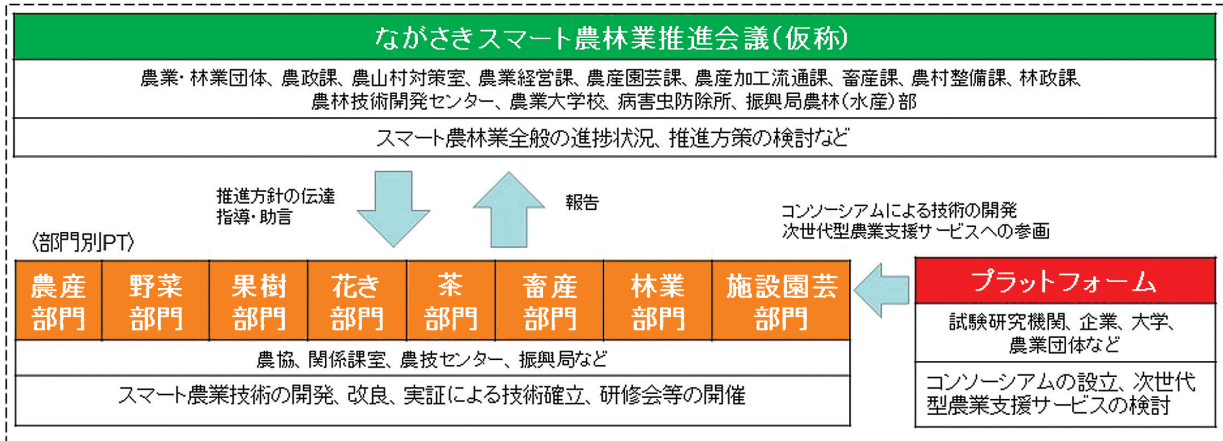
- ・新たに県の関係部署や関係団体からなる「ながさきスマート農林業推進会議」を設置し、スマート農業技術の方向性等について検討を行います。
- ・地域段階において、「スマート農業地域推進会議」を設置し、地域別の導入技術・方法等の検討等を行います。
- ・スマート農業に関する農業者からの相談に対応するため、相談窓口を各普及組織に設置します。

(2) 普及指導員等指導者の育成

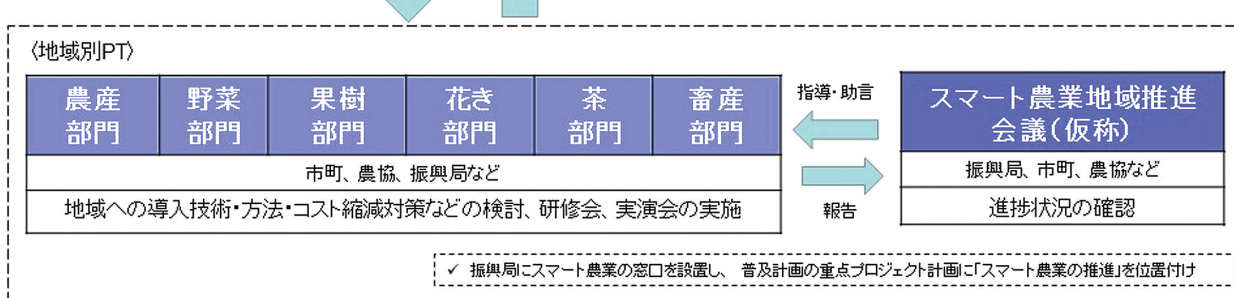
- 普及指導員等を対象に、基礎的な知識や技術習得を図る研修会や農研機構等の研究機関や大学・企業等の専門知識を有する外部講師を活用した研修会を開催します。

長崎県のスマート農業推進体制

【県段階】



【地域段階】



3 スマート農業技術の情報発信と技術習得支援

(1) 研修会の開催

- スマート農業の最新技術や全国の先進的な取組事例等の情報を収集し、研修会等において、スマート農業技術の情報を発信します。

(2) 実演会の開催

- 各産地において、ICTベンダーや農機メーカー等と協力し、スマート農業技術の実演会を開催します。

(3) 教育機関などでの技術習得支援

- 農業大学校生や農業高校生などがスマート農業技術を学べる機会の充実を図ります。